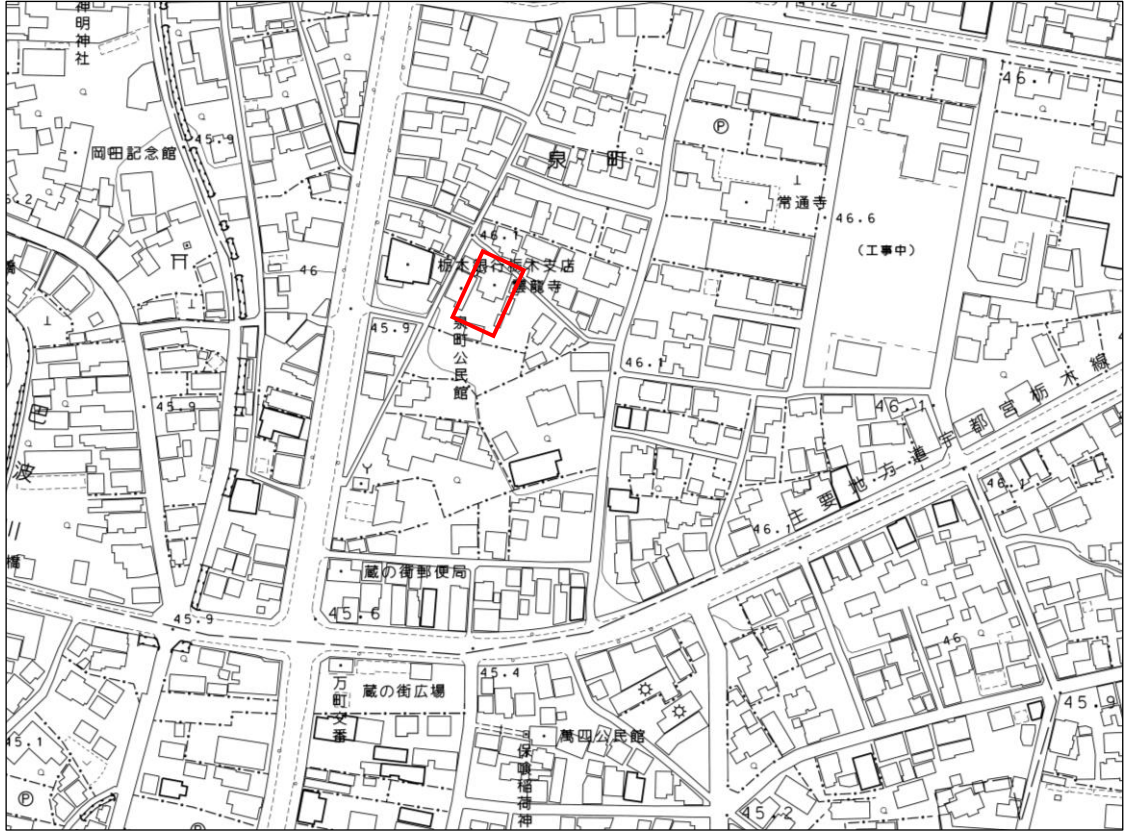


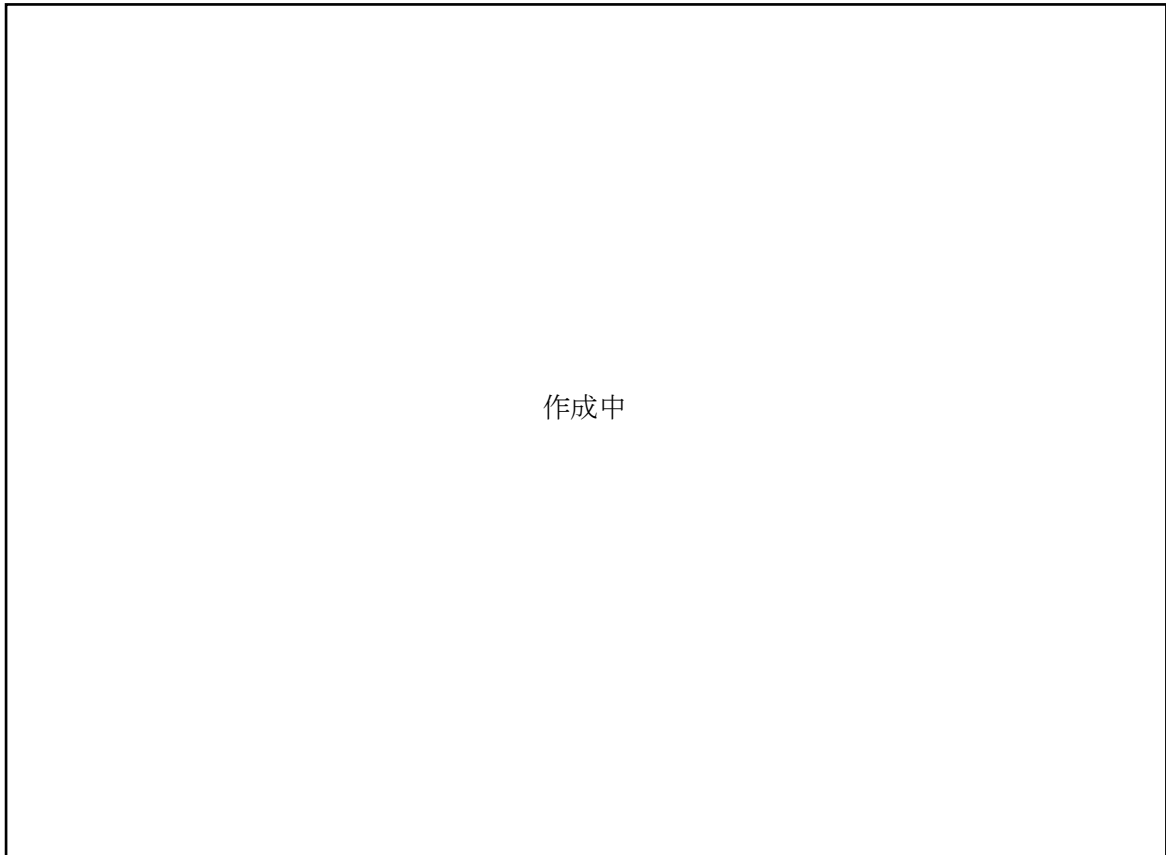
歴史的風致形成建造物 指定台帳

指定番号	19	名称	雲龍寺
指定年月日	令和3年6月1日	所在地	栃木市泉町328番地3
建築年代 (根拠)	明治23年(1890) (創立記念碑)	規模・構造	木造 棧瓦葺 1階建
特徴等	<p>雲龍寺は泉町にあり、市街地内の重要な歴史的建造物の一つである。境内には泉町の山車収納庫がある。栃木町民は文化・文政年間(1804～1830)のころから成田山不動尊を信仰するものが多く、そのため講が三つも組織されていたが、慶応年間(1865～1868)にひとつとなって栃木大護摩講社といった。明治13年(1880)成田山の不動尊の像を模刻し、成田山新勝寺の原口照輪師によって開眼供養を行い、はじめ定願寺本堂に安置したが、やがて平柳・泉町の土地を買い入れて寺院をたて、稲葉村(壬生町)の雲龍寺の寺号をうつし、明治23年11月25日遷仏式を行って、成田山不動尊雲龍寺と名付けた。当初創建されたのは、栃木町大字平柳新地であったが、昭和になり北関門道路の建設に伴い、東側に曳家して現在の地にある。</p> <p>入母屋造棧瓦葺で、本堂天井裏にある棟札には「明治二十二年十二月一日上棟」と記されている。</p>		
形成する歴史的風致(指定理由)	<p>商家町栃木にみる歴史的風致(栃木の山車祭りにみる歴史的風致)</p> <p>山車祭りの舞台である歴史的な町並みを構成する建造物であり、歴史的建造物が建ち並ぶ町並みを背景に山車が巡行する。</p>		
備考			





雲龍寺 案内図



作成中

配置図